

年 組 名前:

## 甲州印伝 後継不足で1社廃業

鹿革に漆を塗った伝統工芸品「甲州印伝」の製造販売を担う企業の一つが、後継者不足を理由に9月末で廃業し、2社のみとなることが分かりました。甲府市青葉町の池田商店は、5年ほど前にベテラン職人が退職し、社長で伝統工芸士の鶴見孝雄さん(72)が1人で製造と販売を続けてきましたが、自身も高齢になり、廃業を決めました。甲州印伝は1987年に国の伝統工芸品に指定されましたが、担い手の減少は著しく、かつて20社近くあった業者は太平洋戦争で減り、焼け野原となった戦後の甲府で事業を再興したのは6社。90~2000年代には代表者の死去などで2社が廃業しました。関係者からは若者が関心を持つ体験会などの必要性を指摘する声も出ていますが、明確な打開策は見えていません。



鹿革に漆を塗る池田商店の鶴見孝雄さん 甲府市青葉町

(2023年9月28日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと10面)

問1 「甲州印伝」とは、どのような伝統工芸品ですか。

.....

問2 「甲州印伝」の製造販売会社が、10月には2社になってしまいます。その理由を教えてください。

.....

問3 「甲州印伝」で作られた商品には、どのようなものがありますか。たくさん書いてください。

.....